



# 薬剤部

# ～情報～

2020年3月



## 2月の採用薬品（常備薬品）

### 耐性乳酸菌散 10%「JG」

#### 腸内細菌叢改善剤

#### 日本ジェネリック

【効】下記抗生物質、化学療法剤投与時の腸内菌叢の異常による諸症状の改善：ペニシリン系、セファロスポリン系、アミノグリコシド系、マクロライド系、テトラサイクリン系、ナリジクス酸

【用】通常成人1日3gを3回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

【副】添付文書参照



## 2月の採用薬品（特定個人薬品）

### ジエノゲストOD錠 1mg「モチダ」

#### 子宮内膜症治療剤

#### 持田製薬販売

【効】子宮内膜症

【用】通常、成人にはジエノゲストとして1日2mgを2回に分け、月経周期2～5日目より経口投与する。

【副】添付文書参照



### ゲンタマイシン硫酸塩注射液 60mg「日医工」

#### アミノグリコシド系抗生物質

#### 日医工

【効】＜適応菌種＞：ゲンタマイシンに感性のブドウ球菌属、大腸菌、クレブシエラ属、エンテロバクター属、セラチア属、プロテウス属、モルガネラ・モルガニー、プロビデンシア属、緑膿菌

＜適応症＞：敗血症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、肺炎、膀胱炎、腎盂腎炎、腹膜炎、中耳炎

【用】通常、成人ではゲンタマイシン硫酸塩として1日3mg（力価）／kgを3回に分割して筋肉内注射または点滴静注する。増量する場合は、1日5mg（力価）／kgを限度とし、3～4回に分割して投与する。小児では、1回2.0～2.5mg（力価）／kgを1日2～3回筋肉内注射または点滴静注する。

点滴静注においては30分～2時間かけて注入する。

なお、年齢、症状により適宜減量する。

【副】添付文書参照



## 2月の採用薬品（特定個人薬品のつづき）

### ギャバロン髄注 0.005%

#### 抗痙縮剤

#### 第一三共

【効】脳脊髄疾患に由来する重度の痙性麻痺（既存治療で効果不十分な場合に限る）

【用】【副】添付文書参照



### ロキソプロフェンナトリウムテープ 50mg「タイホウ」

#### 経皮吸収型鎮痛・抗炎症剤

#### 大鵬薬品工業

【効】下記疾患並びに症状の消炎・鎮痛：

変形性関節症、筋肉痛、外傷後の腫脹・疼痛

【用】1日1回、患部に貼付する。

【副】添付文書参照



## 2月の採用薬品（院外処方専用薬品）

### テルリジー 100 エリプタ 30 吸入用

#### COPD治療配合剤

#### グラクソ・スミスクライン

【効】慢性閉塞性肺疾患（慢性気管支炎・肺気腫）の諸症状の緩解（吸入ステロイド剤、長時間作用性吸入抗コリン剤及び長時間作用性吸入β2刺激剤の併用が必要な場合）

【用】通常、成人にはテルリジー 100 エリプタ 1 吸入（フルチカゾンフランカルボン酸エステルとして100μg、ウメクリジニウムとして62.5μg及びピランテロールとして25μg）を1日1回吸入投与する。

【副】添付文書参照



### ビレーズトリエアロスフィア 56 吸入

#### COPD治療配合剤

#### アストラゼネカ

【効】慢性閉塞性肺疾患（慢性気管支炎、肺気腫）の諸症状の緩解（吸入ステロイド剤、長時間作用性吸入抗コリン剤及び長時間作用性吸入β2刺激剤の併用が必要な場合）

【用】通常、成人には、1回2吸入（ブデソニドとして320μg、グリコピロニウムとして14.4μg、ホルモテロールフマル酸塩として9.6μg）を1日2回吸入投与する。

【副】添付文書参照

